

# にこ通

令和5年5月 おひさしふりです！  
vol.119 長い冬眠から自覚めました笑

## 30年ぶり2回目 巨人ファンになった日(笑)

子供の頃、毎日テレビで観ていた巨人戦。

巨人が勝てば父も上機嫌でい、しょに観戦、劣势になると「いつまでテレビ見とるんや。勉強せんかい！」子供心に「なんて理不尽な親や」と思っていた？；

18歳で金沢の実家を離れ、富山で生活。

それからは、「どこのファン？」と聞かれれば「巨人」と答えるが、勝敗への関心はなくなっていた。  
実績のある他の球団選手を買収する球団の体質にも嫌気がさし、巨人戦のTV放送が減る  
とともに興味も薄らいでいた。



たまに実家に帰ると、飲みながら父からジャイアンツの近況を聞く。

そんな感じで20年以上の月日が流れた。

昨年ふいに思い立ち、東京ドームでの巨人戦に両親を誘った。

親と過ごした時間がとても楽しく、今年のゴールデンウィークにも行ってきた。



「ここで一発頼むぞ!!」「ナイスバッティング!!」

81才の父がまたまた元気なことを感じられて嬉しかった。

惜しくも巨人は負けてしまつたけれど、そこにはその時間を楽しんでいる父の姿があった。

「最近野球ばかり見てない？」

先日、妻から言われてハッとした。といえば、帰宅後ケーブルテレビで巨人戦の中継チャンネルを探している自分がいる。子供の頃見ていた父の姿だ。(笑)



父は高校教師を定年退職後も、講師として70才まで勤め上げた。

人の関わりの中での仕事は、楽しいことはがりではなかつただろう。

ストレスやプレッシャーを抱えるながら、家族にも話さず、一人で消化していたこともあったと思う。

日課だったジョギングや家族との時間、家の巨人観戦が、自分の気持ちを開放できる場所だったんだよね。今なら分かる気がする。

そう思うと、巨人戦を観ながら缶ビールを1本飲む時間も捨てたもんじゃない。

今日一日がんばったご褒美。これからは、父とも巨人を夜に美味しいお酒が飲めそうだ。

そんな自分にひとつだけ言い聞かせていることがある。それは、

「巨人が負けていてもそれはそれ、お茶の間は笑顔で過ごせる自分でいるんだよ」

ということ。戒めのために、今から妻にコレを読んでもらうことにしよう。笑